

# 水稻中干し延長による カーボンクレジット生成と収益化

FAEGER



## ～株式会社フェイスの取組～

環境配慮の取り組みをビジネスにして、気候変動に適応していく。今、水稻の中干し期間を延ばして温室効果ガスのメタン排出を減らすことで収益が得られる取り組みが全国で広がっています。この取組を支援する株式会社フェイスが手掛けるサービスをご紹介します。

### フェイスの概要

フェイスは、持続可能な農業を目指し、カーボンクレジットの生成と販売を通じて「環境価値市場の創出」と「持続的な農業体系の構築」に取り組んでいるスタートアップ企業です。

農家と協力して脱炭素農法によるクレジットを創出し、作り手として企業へ質の高いクレジットを提供しています。

### 農家が用意するもの

事前に用意するもの	栽培期間中に取得するもの(代表ほ場のみ)
・直近2作分の中干し記録(基準日数を設定)	・日減水深の測定記録
・ほ場住所、面積が確認できる書類(営農計画書など)	・中干し期間の記録(開始・終了日の日付と写真)
	・栽培記録(田植え日や出穂日など)

### 取組(サービス)の内容

カーボンクレジットの認証には「複雑な申請手続き」や「販売先の確保」が必要となり、農家が取り組むには大きなハードルと考えられます。

そこで、フェイスは農家が削減した排出量を全量買い取り(→企業へ販売)、申請からクレジットの販売と現金化までを行うことで、農家が行う手続きの簡略化・ワンストップ化を実現しています。

また、企業側としてもフェイスからクレジットを調達する(買い取る)ことで、企業が農家を支援できる仕組みとなっています。

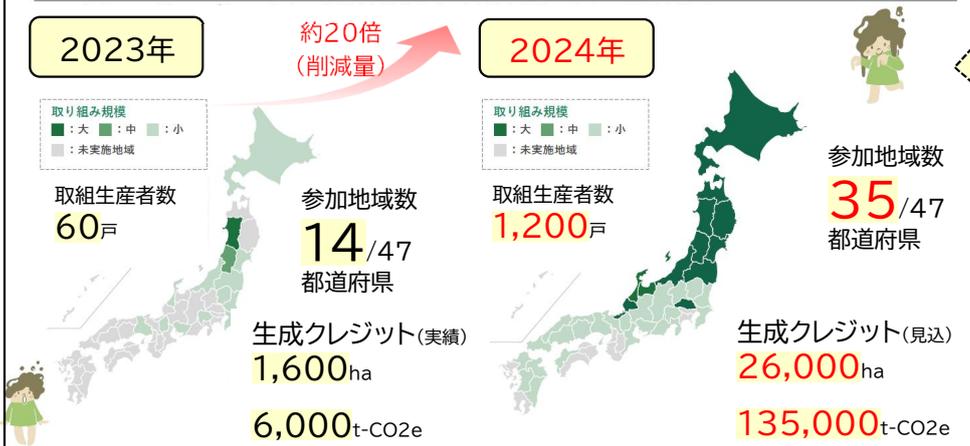
### 農家が取り組むこと

取組の流れ(全てオンライン作業)	
～3月	・フェイスへの入会申請→入会 ※無料
4-5月	・過去2年間の中干し記録を提出 ・営農計画書の画像を提出 ・日減水深測定(写真撮影)→写真提出
6-8月	・代表ほ場を選び、中干し開始・終了の写真撮影→写真提出 ・代表ほ場の栽培管理記録を入力
翌2月 翌々2月(予定)	・クレジット認証後に収益を分割で受け取り

### 取組の広がり

#### 【実績と現況】Jクレジット「水稻中干し延長」

FAEGER



#### JAつくば市(利用者)の声

中干し延長の取組は、農家が無理せず、簡単な作業でちょっとした収入になると考え、フェイスと説明会を開き、関心を持たれた農家に取り組んでいただいている。

JAでは農家の負担を軽減できるように入力支援などを行っている。

